

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における野中小学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年4月から令和6年7月末までの期間に、5年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5学年、特別支援学校小学校部第5学年の原則として全児童
- ・野中小学校では、5年生 46名

3 調査内容

- ・児童に対する調査
 - ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
小学校調査では、以下の種目を実施する。
〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査

- 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童質問紙調査」という。）を実施する。

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

| | | | |
|-----|----|-----|-----|
| 野中小 | 学校 | 児童数 | 264 |
|-----|----|-----|-----|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 18.26 | 19.32 | 33.16 | 32.37 | 41.00 | 9.31 | 151.17 | 20.58 | 51.33 |
| 大阪市 | 15.78 | 19.09 | 32.72 | 38.56 | 45.05 | 9.52 | 147.96 | 20.45 | 51.13 |
| 全国 | 16.01 | 19.19 | 33.79 | 40.66 | 46.90 | 9.50 | 150.42 | 20.75 | 52.53 |
| 女子 | 16.69 | 18.38 | 36.11 | 31.30 | 36.71 | 9.47 | 141.80 | 12.33 | 52.32 |
| 大阪市 | 15.64 | 18.06 | 37.62 | 36.76 | 34.65 | 9.83 | 139.56 | 12.71 | 52.47 |
| 全国 | 15.77 | 18.16 | 38.19 | 38.70 | 36.59 | 9.77 | 143.13 | 13.15 | 53.92 |

結果の概要

男子の体力合計点は、全国平均より1.2ポイント下回っているが、大阪市より、0.2ポイント上回っている。種目別に見ると、握力、上体起こし、50m走、立ち幅とびに関しては、大阪市及び全国の平均を上回っている。反復横とび、20mシャトルランに関しては、大阪市及び全国平均を下回る結果であった。女子の体力合計点は、大阪市の平均より0.15ポイント、全国平均より1.6ポイント下回っている。種目別に見ると、握力、上体起こし、20mシャトルラン、50m走については、大阪市や全国の平均を上回っている。長座体前屈、反復横とび、ソフトボール投げについては、大阪市及び全国平均を下回る結果であった。

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問には、男女とも、肯定的答の割合が大阪市や全国の平均より高い結果であった。1週間の総運動時間については、男子は全ての曜日で、大阪市や全国平均より低い。女子では、大阪市や全国平均より高い曜日もあった。しかし、1週間の総運動量時間が60分未満の児童の割合は、男子では、5.3%、女子では、7.4%であり、全国や大阪市の平均よりも低い傾向にあり、望ましい結果が得られた。（男子平均 全国9.2、大阪市11、女子平均 全国16.0 大阪市19.9）

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、コロナ禍の折には何かと制限があり、思うように体力の向上を図れなかつたことを鑑み、全校で体力の向上に力を入れて取り組んできた。1学期のスポーツテストで、結果が低かった種目に関しては、2学期に全学年において、体育科の授業で記録の向上を目指した取り組みを進めた後、再度計測を行った。5年生で記録の伸びなかつたソフトボール投げを初め、反復横跳び、立ち幅跳びについては、全学年で数値が低い傾向にあつたため、「投げる力」や「跳躍力」を高める運動を授業の中で多く取り入れ、改善を目指してきた。春のスポーツテスト時に比べ、2学期に行ったテストの結果では、記録が伸びた児童が多く、子どもたちにも達成感を味わわせることができた。

来年度は、年度当初から、体力向上の取り組みを行い、記録の向上を図っていきたい。

また、基礎体力をつけるために、休み時間に運動場で遊ぶ児童を増やしたい。そのためには、遊具の紹介や、各教室に配布している遊び道具の見直しもしていきたい。

児童質問紙にもあるように、体育科のICT機器の効果的活用をすることで、児童の「できたり、わかったりすること」を増やすことができる。この取り組みについても継続していく。

そして、体力向上の取り組みの中で、できる喜びを味わせながら、自己肯定感の向上も図っていきたい。

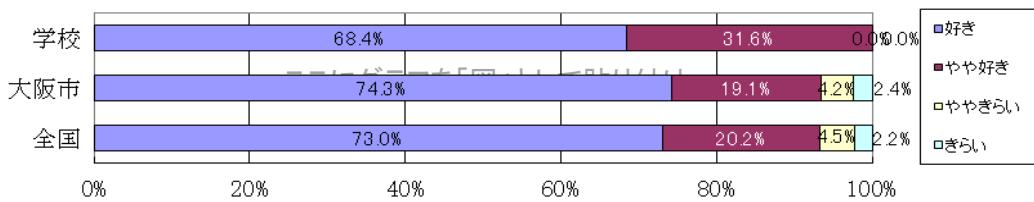
運動やスポーツについて（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

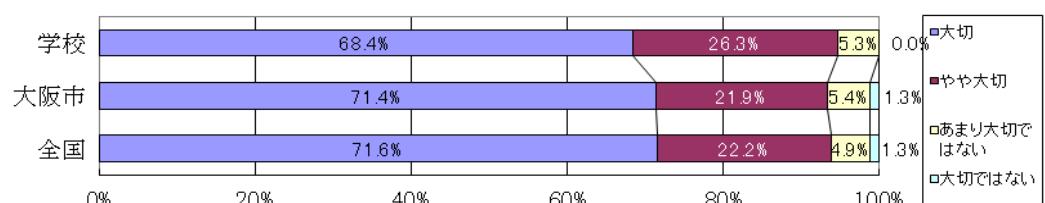
検証項目1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



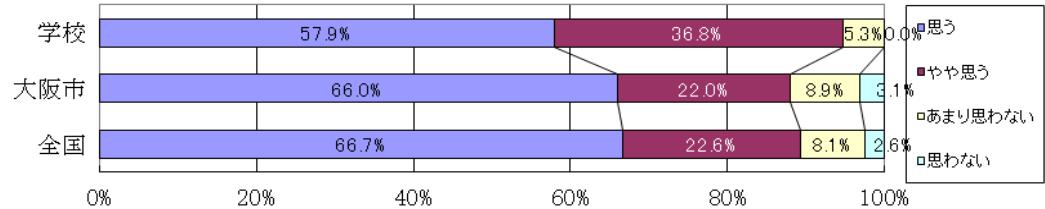
検証項目2

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



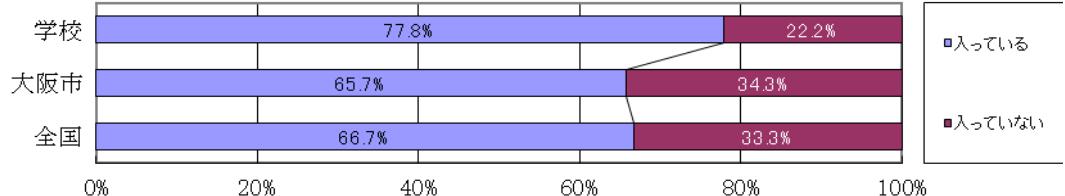
検証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



検証項目4

地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事をふくみます）に入っていますか。



成果と課題

「運動やスポーツをすることは好きですか。」の質問は、肯定的に回答する児童の割合が100%という結果であり、全国、大阪市に比べ高い結果であった。地域のスポーツクラブに入っている児童の割合も高く、スポーツへの関心が高いことがわかる。

今後の取組

運動に対して意欲があると考えられるため、記録が伸びなかったスポーツテストの反復横跳びや20mシャトルランに関しても、体育科の授業で取組を進めることで、記録の改善が図れると考えられる。跳躍力や持久力を高める運動を多く取り入れたい。

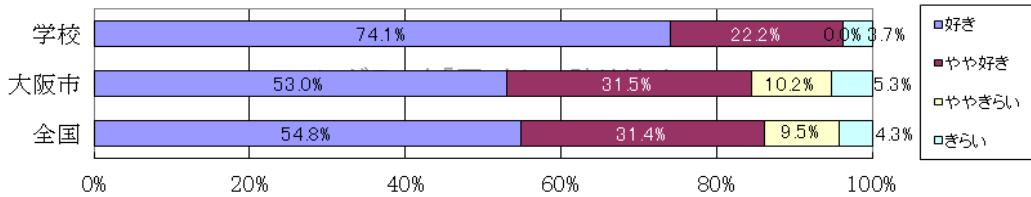
運動やスポーツについて（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

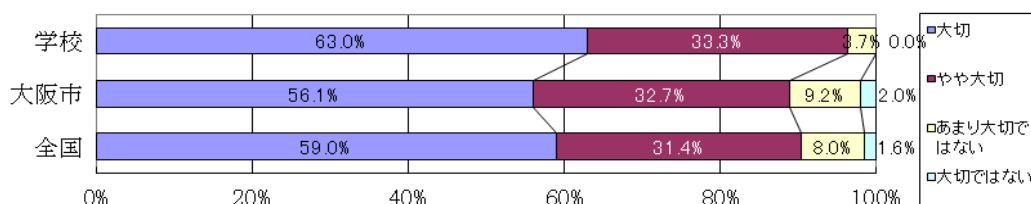
検証項目1

運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



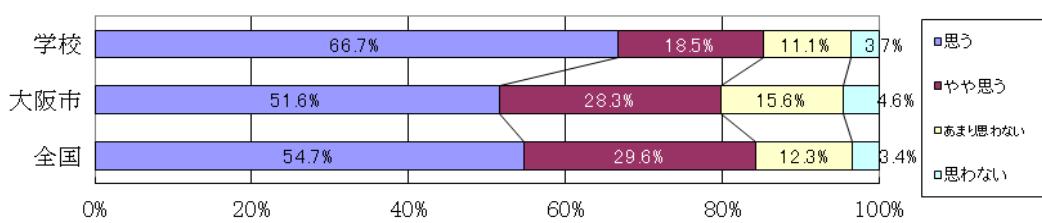
検証項目2

あなたにとって運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツは大切なものですか。



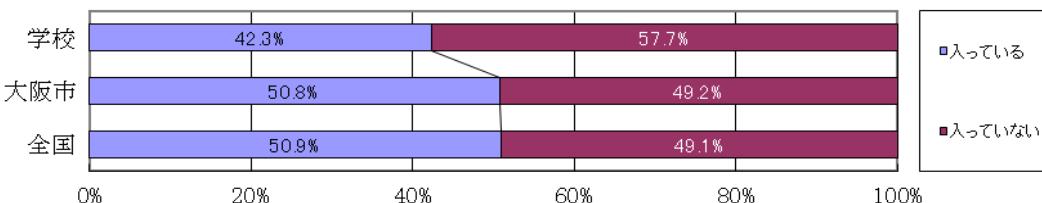
検証項目3

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



検証項目4

地域のスポーツクラブ（スポーツ少年団や習い事をふくみます）に入っていますか。



成果と課題

「運動やスポーツをすることは好きですか。」の質問は、男子に比べると肯定的回答が低いものの、全国や大阪市の平均を大幅に上回る高い結果であった。運動やスポーツを大切なものと思っている児童も多く、運動に対する意欲は高いと思われる。

今後の取組

体育の授業や体育的行事で、運動することの楽しさを継続して味わわせ、意欲的に運動をする児童をこれからも増やしていく。また、スポーツテストで結果の低かった、長座体前屈、反復横とび、ソフトボール投げについての取組を、体育科の授業の中で取り入れ、意欲的に取り組ませたい。

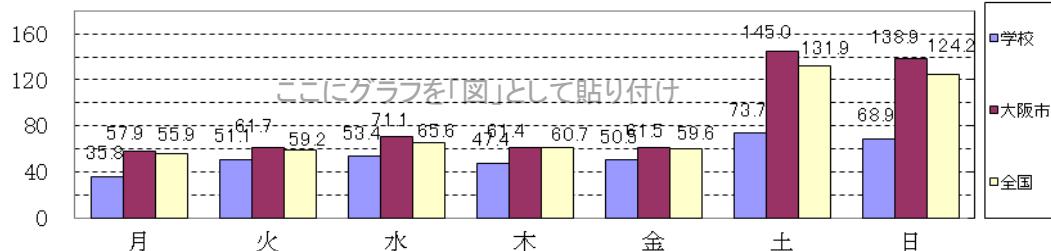
ふだんの生活について（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



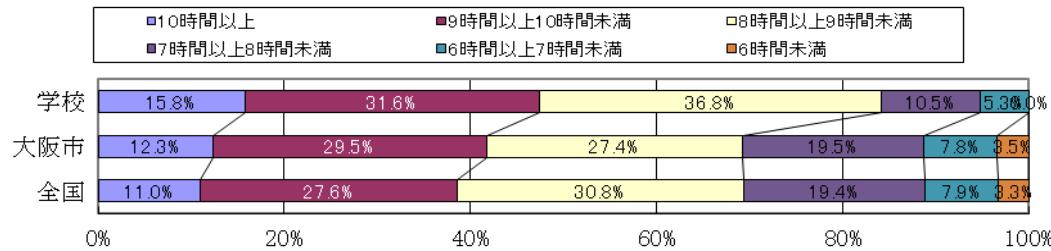
検証項目2

朝食は毎日食べますか。
(学校が休みの日もふくめます)



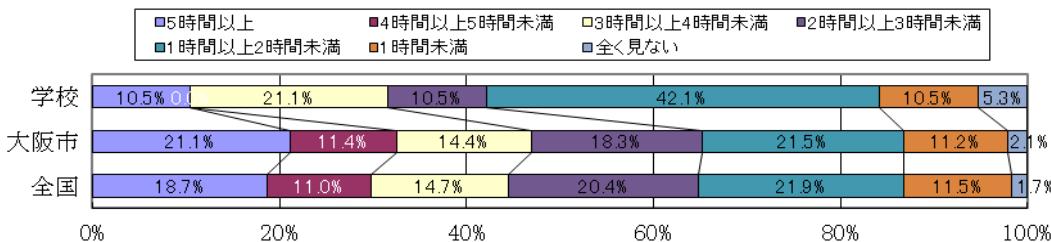
検証項目3

毎日どのくらいねていますか。



検証項目4

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見てていますか。



成果と課題

1週間の総運動時間については、平日、土日ともに大阪市や全国平均より低いという点は、気がありである。区の制度を利用し、児童に向けて睡眠についての取組を行っていることもあり、睡眠時間や朝食などの生活習慣は、全国及び大阪市よりよい傾向にある。また、学習以外のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォンの使用時間も、少ない傾向にある。

今後の取組

休み時間に運動場で遊ぶことで、体育の授業以外の時間に楽しく意欲的に運動する児童を増やしていく。そのために、遊具の紹介や、各クラスに配布している遊び道具の見直しも行っていく。

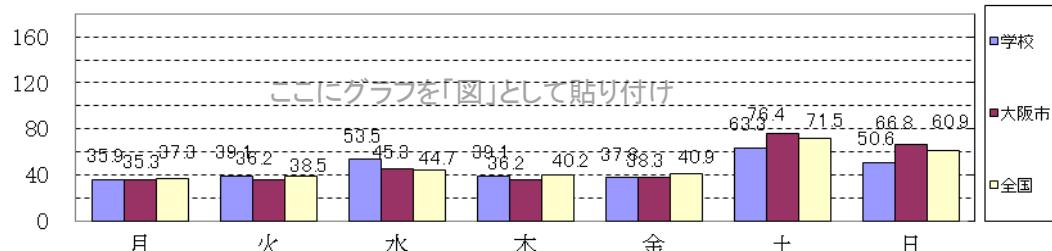
ふだんの生活について（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

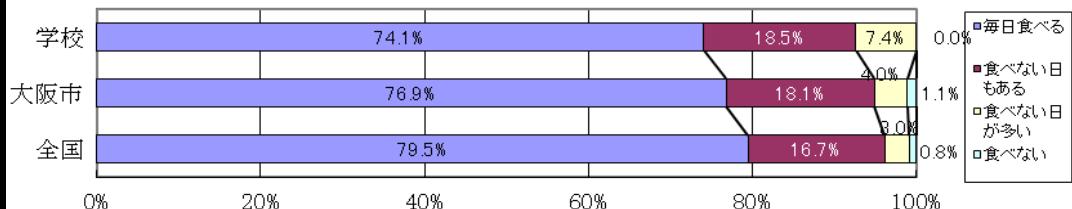
検証項目1

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



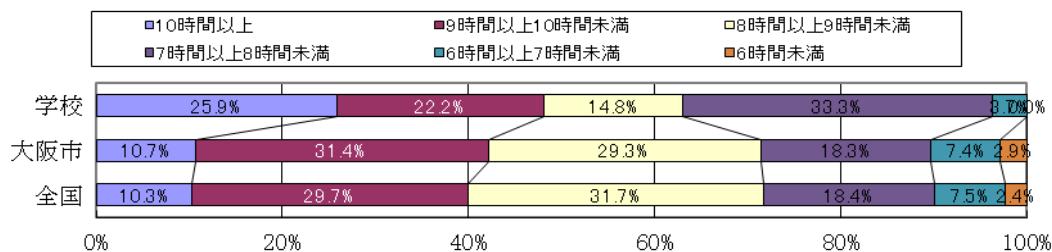
検証項目2

朝食は毎日食べますか。（学校が休みの日もふくめます）



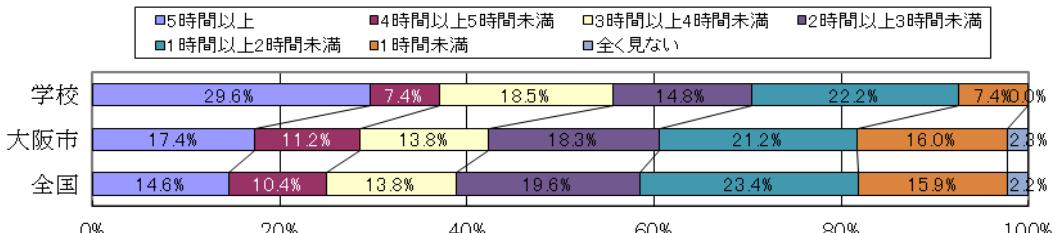
検証項目3

毎日どのくらいねていますか。



検証項目4

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



成果と課題

1週間の総運動時間については、平日では、大阪市や全国平均を上回る日もあるが、土日に関しては、低い傾向にある。区の制度を利用し、児童に向けて睡眠についての取組を行っていることもあり、9時間以上睡眠時間をとっている児童の割合は、全国及び大阪市より多い。学習以外のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォンの使用時間が男子に比べ多く、大阪市や全国平均よりも長い傾向にある。

今後の取組

遊具の紹介や、各クラスに配布している遊び道具の見直しを行うことで、体育の授業だけでなく、休み時間も運動場で元気に遊び、楽しく意欲的に運動する児童を増やしたい。睡眠時間や朝食を食べることの大切さについては、これからも継続して取り組みを進めていく。また、学習以外のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォンの使用時間が長い傾向にあるため、家庭での適切な使い方についての取組も行っていく。

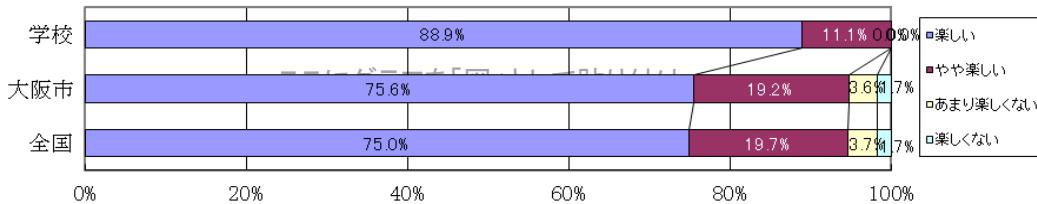
体育の授業について（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

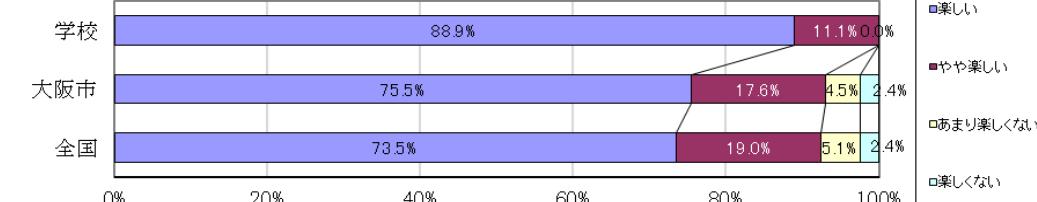
体育の授業は楽しいですか。



検証項目2

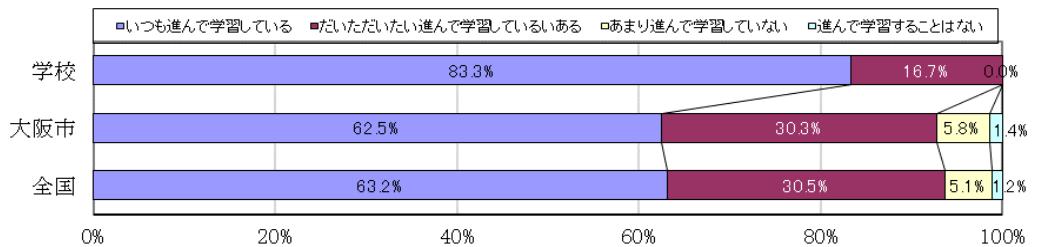
どんなときに体育の授業が楽しいと感じますか。

④記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき



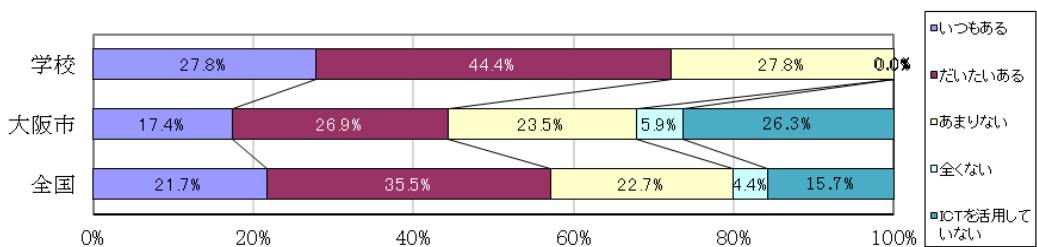
検証項目3

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



検証項目4

体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



成果と課題

「体育の授業が楽しいか」という質問には、100%の児童が肯定的に答えており、「体育の授業に進んで参加しているか」の問い合わせにも、100%の児童が肯定的に答えている。楽しい理由として、「記録に挑戦したりしたとき」の項目に男子の全員が肯定的に答えている。持久走記録会などの学校行事も功を奏していると考えられる。体育の授業でのICTの活用による効果も大阪市や全国の平均より高く、取組の成果があらわれているといえる。

今後の取組

体育に意欲的に楽しく取り組ませるために、今後も体育科の授業の工夫を行っていく。ICT機器の効果的な活用を取り入れたり、持久走記録会などの記録に挑戦できる体育的行事を計画実施したりすることを継続していく必要がある。

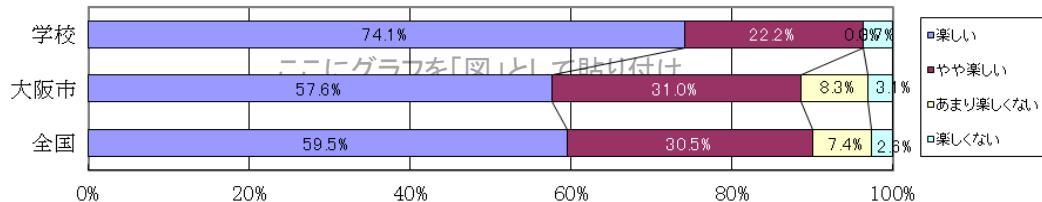
体育の授業について（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

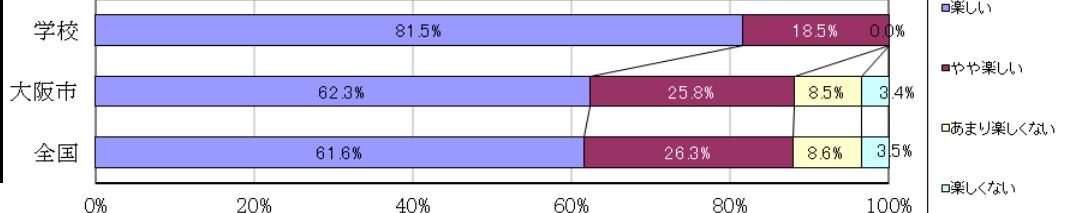
体育の授業は楽しいですか。



検証項目2

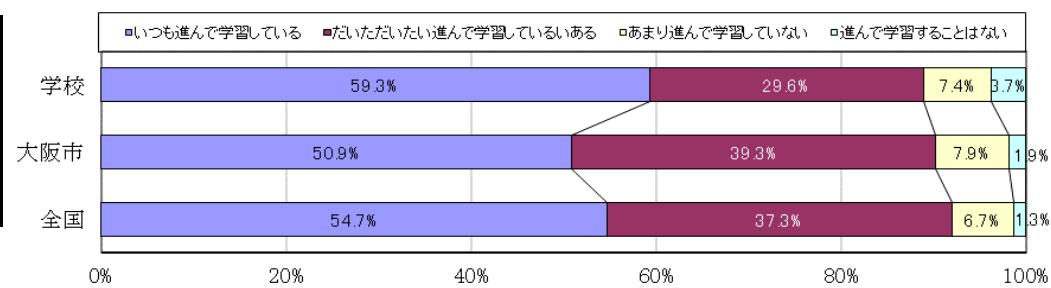
どんなときに体育の授業が楽しいと感じますか。

④記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき



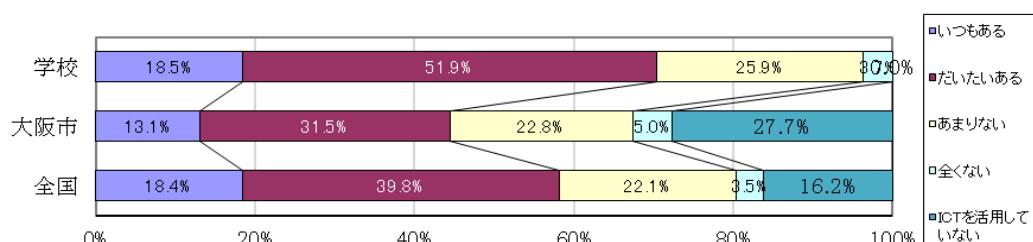
検証項目3

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



検証項目4

体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



成果と課題

「体育の授業が楽しいか」という質問に肯定的に答える児童の割合は、大阪市や全国の平均よりも高い。楽しい理由として、「記録に挑戦したりしたとき」との項目に女子も全員が肯定的に答えている。男子と同様に、持久走記録会などの学校行事も功を奏していると考えられる。体育の授業でのICTの活用による効果も出ており、よりよい活用を模索していく必要がある。

今後の取組

体育の授業に楽しく取り組ませるために、ICT機器の効果的な活用とともに、持久走記録会などの記録に挑戦できる体育的行事の計画・実施を進めていく。

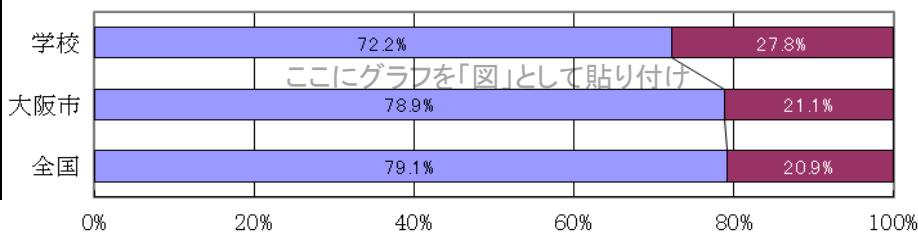
その他（男子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

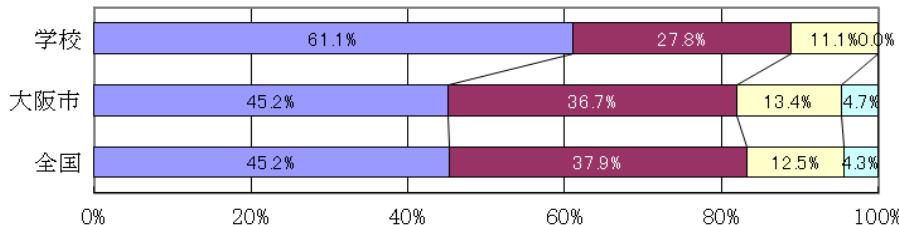
体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



- 目標を立てている
- 目標を立てていない

検証項目2

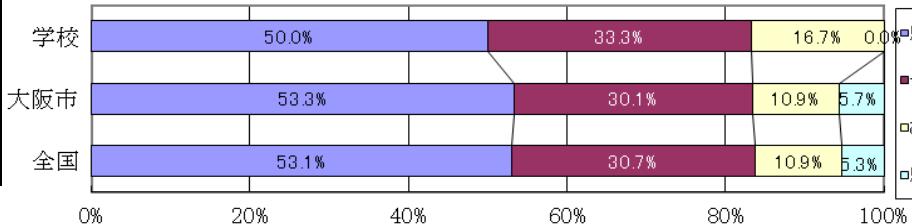
保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送っていると思いますか。



- 思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

検証項目3

保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



- 思うようになった
- やや思うようになった
- あまり思わなかった
- 思わなかった

検証項目4

成果と課題

体力・運動能力の向上について、目標を立てていると答えた児童が全国・大阪市の平均を下回っているが、結果では上回っている項目が多い。年齢に合わせた基準値を明確に提示することで客観的に自分の能力を理解できるようにしたい。保健の学習を通して、運動、食事、休養およびすいみんに関心を示す児童が増えた。

今後の取組

体力テストでは、年齢における基準を設け、一つの指標とすることで目標を立てやすくする。また、これまでの記録を参考にする時間を各学級で設定し、体力テストカードを有効的に活用していく。ヨドネルの睡眠についての講演などを引き続き実施し、運動や睡眠に対する児童の関心を向上させていく。

その他（女子）

検証シート:各校で必要に応じて作成してください

本校の特徴的な結果

検証項目1

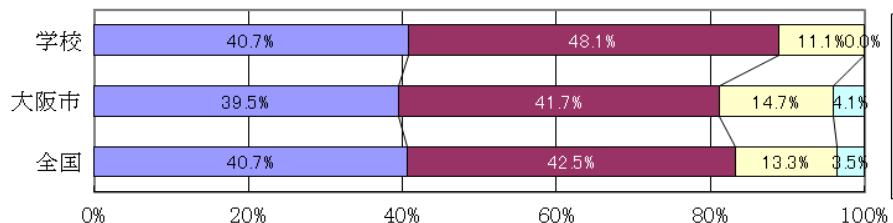
体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



- 目標を立てている
- 目標を立てていない

検証項目2

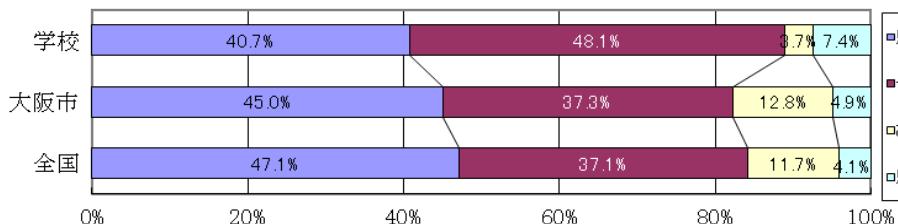
保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送っていると思いますか。



- 思う
- やや思う
- あまり思わない
- 思わない

検証項目3

保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



- 思うようになった
- やや思うようになった
- あまり思わなかった
- 思わなかった

検証項目4

成果と課題

体力テストの結果や体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている児童が、全国・大阪市の平均を大きく上回っている。新しくストラックアウトを設置することで、運動への意欲が高まったと考えられる。保健の学習を通して、運動をしようと思っている児童が多い。しかしながら、全国・大阪市と比較すると、肯定的な回答は多いものの、「思うようになった」と回答している児童は全国や大阪市の平均より下回っていることから、「やや思うようになった」～「思わなかった」と回答する児童に焦点を当て、強い関心が持てるような手立てが必要だと考える。

今後の取組

「保健の学習を通して、もっと運動をしようと思いましたか」という質問に対し、「思わなかった」と回答した児童は、全国や大阪市の平均より高いため、動画や実践を通して運動をすることの良さを感じさせられるような手立てを行っていく。家でのストレッチや友だちとの遊びの時間を題材にして、運動を身近に感じられるように、児童の関心を向上させていく。